



とうぎん

有田町立有田小学校 校長 山口 英一



「感謝」の漢字の成り立ちは…

6月の全校朝会で、入学式で話した3つのお願いのうちの1つ「ありがとうを言う」について話をしました。「ありがとうを言う」は「感謝を伝える」と言い換えることができます。そこで、「感謝」の漢字の成り立ちについて考えてみました（諸説ある中の1つで、低学年の子どもたちには難しかったと思いますが…）。

「感」は、**咸(カン)+心**です。「咸」には、「すべて、ともに」という意味があり、「心」には、「人間の理性、知識、感情、意志などの働きのもとになるもの」などの意味があります。「感」は、「心が動かされること、思いを深く受け取ること」という意味になります。

「謝」は、**言+射**です。「言」には、「ことば」という意味があり、「射」には、「発する・ねらう」という意味があります。「謝」は、「あやまる、礼を言う、お礼を述べる」という意味になります。

2つの漢字を組み合わせた「感謝」は、「心が動いたことを、言葉で伝えること」という意味になります。

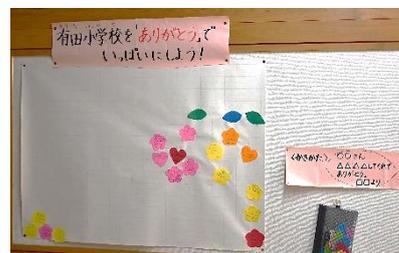
感謝

「みなさんは、誰かに“ありがとう”と言ったことはありますか？」と尋ねてみると、当然「ある!」との答えが返ってきました。感謝は、何か特別なことではなく、毎日の中で見つけることができます。そんなときに「ありがとう」と伝え、自分も相手も気持ちよくなります。感謝の気持ちをもっていても、声に出して言わないと相手には伝わりません。

そこで、子どもたちに「今日、学校の中で3回“ありがとう”を言ってみてください。小さなありがとうが、学校全体をあたたく、やさしい場所にしてくれます」と、「感謝の心」を大切にすきっかけになればと思って伝えました。

すると、すぐに本校の人権・同和教育担当職員が掲示板に【有田小学校をありがとうでいっぱいにして】というコーナーを設置してくれました。早速、十数名の子どもたちが、「ありがとう」を見つけて書いていました。

これまで以上に、一人一人のあたたくい行動や声かけて、たくさんの「ありがとう」があふれる有田小学校にしていきたいと思っています。



まだ始まったばかりですが、今後、たくさんの「ありがとう」が見られると思います。

地震・火災避難訓練

5月30日、地震後に火災が発生したと想定しての避難訓練を行いました。有田消防署員の方に避難している様子を見てもらい、「㊦さない、㊧けない、㊨ずかに、㊩どらない」を守って避難ができていると言ってもらえました。

その後、6年生代表児童が実際に消火器を使って、消火体験をしました。

「もしも」がやってこないことが一番よいのですが、防災意識をもち続けることが大切だと再認識しました。



心肺蘇生法(AED)研修

6月10日から始まる水泳の授業を前に、6月4日、有田消防署員の方をお招きし、教職員が心肺蘇生法(AED)の研修を受けました。

毎年、全国各地で水の事故が起きていることをニュースで見聞きます。年に1回、必ず研修は受けていますが、過去の研修を思い出しながら、真剣に取り組みました。

使う場面はないと思いますが、「もしも」の場合にも対応できる備えができました。



☔ は必要…？

気象庁が8日、九州北部の梅雨入りを発表しました。梅雨入りは平年と比べて4日遅く、去年と比べると9日早いそうです。今後、局地的・断続的な雨などにより、状況によっては「はなまる連絡帳」で学校から様々な情報提供をする場合もあります。急な変更があるかもしれませんが、子どもたちの安全第一で対応していきます。

話は変わりますが、皆さんは**降水確率何%**で傘を持っていきますか？ 降水確率とは、降水確率50%を例に「過去に同じ気象条件が100回あったとして、そのうち50回で1mm以上の降水があれば、降水確率は50%となる」とのことです。雨の降るエリアや時間の割合ではないということです。

ある気象予報士によると、「**降水確率30~40%**だと傘を持って行ったほうがいいかもしれない。」とのことでした。この時期、毎朝天気予報をチェックして、傘を持っていくかどうかの判断材料にしないといけませんね。

水泳の学習が始まりました

6月10日から、「水あそび・水泳」の授業が始まりました。今年もジェネックス有田さんにお世話になります。この日、参観に行きましたが、子どもたちは生き生きと活動していました。泳ぐことが得意な子、水がちょっとこわい子…、いろいろな子がいると思います。それぞれが目標をもって、授業初日より少しでも上達できるよう頑張ってもらいたいと思います。

水泳の学習は楽しいことも多いのですが、一歩間違えると重大な事故につながりかねません。体育担当職員や学級担任がルールなどの事前指導は行っていますが、しっかり守って安全に授業が行えるよう、今後も最大限注意を払っていきます。



★ クラブ活動 始動! ★

6月10日、初めてのクラブ活動がありました(4月22日に編成と計画は済ませていました)。今年度は、「スポーツ・イラスト・折り紙・ゲーム・English・実験」の6クラブです。4~6年生が、それぞれのクラブで楽しく活動していました。文部科学省から出されている『小学校学習指導要領』には、クラブ活動の目標として「異年齢の児童同士で協力し、共通の興味・関心を追求する集団活動の計画を立てて運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、個性の伸長を図りながら、…」とあります。異なる学年の子どもたちが、楽しみながらも**主体的に考えて実践**できるよう、教職員で適切に支援していけたらと思っています。

折り紙クラブで折り方の指導をしてくださる馬場久美子さん。今年度もよろしくお願いたします。



まだまだ知らないことも…

有田町の南側に位置し、いつも有田小学校を見守ってくれている山。山頂には2本の中継局のアンテナが立っています。子どもころ、友達と一緒におやつを持って遊びに行ったり、元日に初日の出を見るために登ったりしていました。

皆さんはこの山を何と呼んでいましたか？ 私は「大神宮」と呼んでいました。学校敷地内の見回りをしていたときに、ふと正式な名称は何というのだろうと気になって調べてみました。すると、「蓮華石山」と呼ばれていることが分かりました。では、名前の由来は…？ と、さらに調べてみました。結局由来までたどりつけませんでした。蓮華石山から稜線につながる金山岳には、かつて金を掘っていた跡がたくさん残っているということを知りました。

何となく聞いたことがあるような気もしているのですが、忘れてしまっていることや知らないことがまだまだあるなあ…と、改めて実感しました。

これからも、**有田再発見**をしていかなければという意欲がわいてきました。

